



# 徳成寺 寺とかわら版 第193号 2023年1月



明けましておめでとうございます。住職の大山です。

この年末年始もまた、大勢の皆さんが納骨堂など当寺にお参り

頂きました。元旦なども朝の開門と同時に複数のお参りさんが

いらっしゃいました。あらためて「私たちの心の中には、生前の姿

や思い出が残っています。亡くなったらそれで終わりではありません。」

という小冊子「誰のために葬儀を勤めるのか」（海 法龍 師著）の一節が

思い起こされます。たとえ肉体が減んでいようと、人は残った方々の心の

中に間違いなく生きておられることが痛感されます。どんなに時代が移り

変わろうとも、故人を知る人々の心の中に脈々と残っています。それは不変の

事実でしょう。生死の境を超えて、人と共に生きる。この平凡な人間の営みに孤立や

分断を超える道が指し示されている気がしました。

\*昨年末の報恩講で募金頂いた歳末たすけあい9,802円を、NHK 高松を通じて寄付しました。

—発行責任者—

住職  
大山健児

坊主  
大山ひとみ



## 大山超世の耳を澄ませば

お世話になっています、副住職です。今年もよろしく申し上げます。さて、皆様は昨年やり残した事はありますか。私はマイナンバーカードの受け取りです。作成の申請は物凄く簡単で、インターネット上の短い手続きで終わりました。しかし、問題はここから。受取可能を知らせる通知ハガキが来るまで約1ヶ月半。そして、通知ハガキと引き換えに窓口で受け取りになります。待ち時間について問い合わせの電話が繋がるまで1時間。受け取るまで3時間かかると言われてその日は断念。そしてそのまま新年を迎えました。特典の2万円分のポイントは2月末までなので、焦る事はないのですが、テレビや広告、手紙などで簡単に作れると宣伝していた上に、基本平日休みで役所に行こうと思えば行ける自分にすらこんなにハードルが高いとは想像しておりませんでした。想像が及ばない事が今年もたくさん起こると思います。自分にとって良い事も悪い事も起きるでしょう。それらに一喜一憂せず、平常心を持って万事に臨みたいと感じたのでお話をさせて頂きました。

